

カーボン・オフセット等に用いる新クレジットの創出事業

873百万円(335百万円)

エネルギー特別会計 807百万円(259百万円)

一般会計 66百万円(76百万円)

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の必要性・概要

- カーボン・オフセットに用いられるオフセット・クレジット（J-VER）制度は2012年度末を制度のいったんの区切りとしており、2013年度からは国内クレジット制度と統合し、新たなクレジット制度として引き続き制度を継続することになっている。
- J-VER 制度同様、資金還流と地域資源の活用や雇用の確保など地域振興を目的として新クレジット制度を活用することを想定して、事業者支援や対象プロジェクト種類の拡充等を行い、制度の信頼性向上と普及を図っていく必要がある。

2. 事業計画（業務内容）

- 新クレジット制度については、新クレジット制度の関連委員会の運営、制度のウェブページの更新等を行い、制度の円滑な運営と適切な情報提供を行う。また、制度運用において信頼性を確保するために必要な規定類等の改善を行い、統合したものと現行のものとで混乱をきたさぬように、新制度の周知を図る。
- エネルギー起源 GHG 排出削減プロジェクト種類について、広く一般よりプロジェクト種類に関するアイデアを募集し、当該プロジェクトの計画・評価（方法論等の策定）を行う。また、GHG 排出削減プロジェクトを実施し、新クレジット制度の認証を受けるために必要となる認証申請や検証等プロセスについて支援を行う。
- 既存の J-VER 登録簿システムを基にした新クレジット登録簿システムを開発し、新クレジット制度を効率的に運営する。

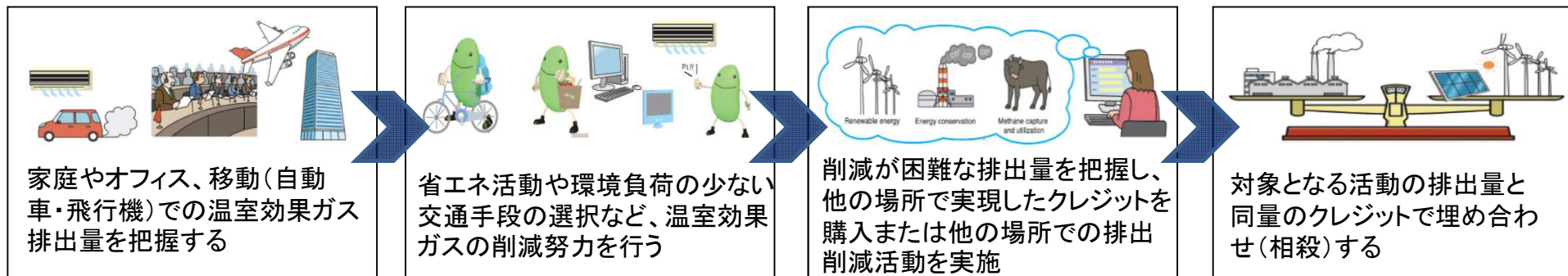
3. 施策の効果

- 新クレジットの取組促進を通じ、我が国の中期目標の達成に貢献するとともに、国内の中小企業や農林分野を含めた国内投資の促進、雇用促進につなげ、地域活性化に寄与する。

カーボン・オフセット等に用いる新クレジットの創出事業(8.7億円)

<カーボン・オフセット>

市民・企業等が、自身の温室効果ガスの排出量を認識し、削減努力を行った上で、どうしても削減できない部分を、他の場所の削減・吸収量(クレジット等)で埋め合わせる



事業概要

信頼性の高い新クレジットの創出

・新クレジット制度の円滑な運営と適切な情報提供、新クレジットの認証、プロジェクト種類の承認等

・広く一般より募集したプロジェクトに関する方法論等の事業実施可能性等を勘案した策定支援
・新クレジットの認証取得支援を通じたプロジェクトの発掘

・新クレジット制度を効率的に運営するための登録簿システムの開発・運用・保守

新クレジットの取組促進を通じ、我が国の中期目標の達成に貢献するとともに、中小企業や農林分野を含めた国内投資の促進、雇用促進につなげ、地域活性化に寄与